豊田工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	英語文法・作文B

科目基礎情報

科目番号	01232	科目区分	一般 / 必履修，選択必修（英）
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	機械工学科	対象学年	1
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	「Revised Vision Quest English Expression I Advanced」（啓林館）、「Revised Vision Quest English Expression I Advanced ワークブック」／「Vision Quest総合英語」（啓林館）		
担当教員	水口 陽子		

到達目標

(ア)中学校で既習の文法事項や構文を定着させ、高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。
(イ)語・句・文における基本的な強勢や、文における基本的なイントネーション・区切りを正しく理解し、音読することができる。日常的な会話文や短い英文を聞き、内容が理解できる。
(ウ)自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目	中学校で既習の文法事項や構文を理解し、高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	中学校で既習の文法事項や構文を理解し、高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を理解できる。	中学校で既習の文法事項や構文を理解し、高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得できていない。
評価項目	語・句・文における基本的な強勢や、文における基本的なイントネーション・区切りを正しく習得し、音読することができる。日常的な会話文や短い英文を聞き、内容を正確に理解できる。	語・句・文における基本的な強勢や、文における基本的なイントネーション・区切りを正しく理解し、音読することができる。日常的な会話文や短い英文を聞き、内容が理解できる。	語・句・文における基本的な強勢や、文における基本的なイントネーション・区切りを正しく理解し、音読することができない。日常的な会話文や短い英文を聞き、内容が理解できない。
評価項目	自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を適切な表現を用いて書くことができる。	自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができない。

学科の到達目標項目との関係

本校教育目標 ④ コミュニケーション能力

教育方法等

概要	前期で学んだ英文法の基礎に加え、関係詞、比較、仮定法、無生物主語などの英語に特徴的な文法を修得する。文法の知識を活かして、英語で書いて話す能力を身につける。単なる文法理解にとどまらず、「読む、書く、聞く、話す」という4技能の基礎力を養うことを目標とする。
授業の進め方・方法	英文法の意味、使い方を学び、実際に学んだ文法を用いて表現する。
注意点	英和辞典（紙または電子辞書）を持参すること。 毎回、教科書の問題を解いてから授業に臨むこと。ワークブックは復習に活用する。

選択必修の種別・旧カリ科目名

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	Lesson 7	不定詞：不定詞の3つの用法を理解できる。
		2週	Lesson 7	不定詞：不定詞の意味上の主語、否定形、使役動詞・知覚動詞の使い方を理解できる。
		3週	Lesson 8	動名詞：動名詞の用法、意味上の主語、否定形を理解できる。
		4週	Lesson 8	動名詞：動名詞の受動態、慣用表現を理解できる。
		5週	Lesson 9	分詞：名詞を修飾する分詞、補語になる分詞を理解できる。
		6週	Lesson 9	分詞：分詞構文の形と働き、意味を理解できる。
		7週	Follow-up 3 Paragraph	文法：準動詞を理解できる。 パラグラフの構成を理解できる。
		8週	Lesson 10	関係代名詞：関係代名詞の3つの格、関係代名詞that、whatを理解できる。
	4thQ	9週	Lesson 10	関係副詞：関係副詞の用法を理解できる。
		10週	Lesson 11	比較：比較を使った表現を理解できる。
		11週	Lesson 11	比較：最上級を使った表現を理解できる。
		12週	Lesson 12	仮定法：仮定法過去と仮定法過去完了を理解できる。
		13週	Lesson 12	仮定法：wish, as if を使った仮定法を理解できる。
		14週	Follow-up 4 & 5	文法：否定表現、接続詞の使い方を理解できる。
		15週	Summary	要点・要約の書き方を理解できる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

評価割合

	中間試験	定期試験	実技課題	合計
総合評価割合	30	50	20	100
基礎的能力	30	50	20	100